

正誤表：頭頸部癌取扱い規約 2001年11月 【改訂第3版】

3頁 16行目	誤	内深頸リンパ節 internal jugular chain 現在、日本解剖学会では内深頸リンパ節群を前方群と側方群に分けている。 前群 とは内頸静脈の前にあるリンパ節で側方群とは内頸静脈の外側にあるものを
	正	内深頸リンパ節 internal jugular chain 現在、日本解剖学会では内深頸リンパ節群を前方群と側方群に分けている。 前方群 とは内頸静脈の前にあるリンパ節で側方群とは内頸静脈の外側にあるものを
23頁 5行目	誤	T4 口唇：隣接組織たとえば骨髓質，下歯槽神経，口腔底，顔面の皮膚に浸潤する腫瘍
	正	T4 口唇：隣接組織たとえば骨髓質，下歯槽神経，口腔底，顔面の皮膚に浸潤する腫瘍
26頁 3行目	誤	T3 次のいずれかに浸潤する腫瘍：上顎洞後壁の骨，皮下組織，頬部皮膚，眼窩底または眼窩内側壁，側頭下窩，翼状突起*，篩骨洞 T4 眼窩底または眼窩内側壁をこえて，眼窩尖端を含む眼窩内に浸潤する腫瘍，および/または次のいずれかに浸潤する腫瘍：篩板，頭蓋底，上咽頭，蝶形洞，前頭洞
	正	T3 次のいずれかに浸潤する腫瘍：上顎洞後壁の骨，皮下組織，頬部皮膚，眼窩底または眼窩内側壁，側頭下窩，翼状突起*，篩骨洞 T4 眼窩底または眼窩内側壁をこえて，眼窩尖端を含む眼窩内に浸潤する腫瘍，および/または次のいずれかに浸潤する腫瘍：篩板，頭蓋底，上咽頭，蝶形洞，前頭洞
28頁 23行目	誤	2) TNM分類 分類評価のための診断法は身体的検査，内視鏡検査と画像診断である。 T・原発腫瘍
	正	2) TNM分類 T・原発腫瘍
31頁 17行目	誤	T4 隣接組織，例えば翼突筋，下顎骨，硬口蓋，舌深層の筋（外舌筋*），喉頭に浸潤する腫瘍
	正	T4 隣接組織，例えば翼突筋，下顎骨，硬口蓋，舌深層の筋（外舌筋*），喉頭に浸潤する腫瘍

正誤表：頭頸部癌取扱い規約 2001年11月 【改訂第3版】

36頁 22行目	誤	T2 喉頭の固定がなく、声門上部の他の亜部位、声門または声門上部の外側域（たとえば舌根粘膜、喉頭蓋谷、梨状陥凹の内側壁など）の粘膜に浸潤する腫瘍 T3 声帯が固定し喉頭に限局するものおよび/または輪状後部、喉頭蓋前方の組織、舌根の深部のいずれかに浸潤する腫瘍 T4 甲状軟骨を破って浸潤する腫瘍および/または頸部軟部組織、甲状腺、および/または食道に進展する腫瘍
	正	T2 喉頭の固定がなく、声門上部の他の亜部位、声門または声門上部の外側域（たとえば舌根粘膜、喉頭蓋谷、梨状陥凹の内側壁など）の粘膜に浸潤する腫瘍 T3 声帯が固定し喉頭に限局するものおよび/または輪状後部、喉頭蓋前方の組織、舌根の深部のいずれかに浸潤する腫瘍 T4 甲状軟骨を破って浸潤する腫瘍および/または頸部軟部組織、甲状腺、および/または食道に進展する腫瘍
36頁 最下行より 2行目	誤	T4 甲状軟骨を破って浸潤するものおよび/または喉頭外すなわち気管、頸部軟部組織、甲状腺、咽頭に浸潤する腫瘍
	正	T4 甲状軟骨を破って浸潤するものおよび/または喉頭外すなわち気管、頸部軟部組織、甲状腺、咽頭に浸潤する腫瘍
37頁 5行目	誤	T4 輪状軟骨あるいは甲状軟骨を破って浸潤する腫瘍および/または喉頭をこえて他の組織すなわち気管、頸部軟部組織、甲状腺、咽頭、食道に浸潤する腫瘍
	正	T4 輪状軟骨あるいは甲状軟骨を破って浸潤する腫瘍および/または喉頭をこえて他の組織すなわち気管、頸部軟部組織、甲状腺、咽頭、食道に浸潤する腫瘍
42頁 25行目	誤	期 T2, T3, T4 N0 M0 期 Tに関係なく N1 M0
	正	期 T2, T3, T4 N0 M0 期 Tに関係なく N1 M0